

知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成 ～確かな学力と自立する力の育成を目指して～



○学校名 行田市立忍中学校
 ○所在地 埼玉県行田市本丸18番6号
 ○電話番号 (048) 554-9371
 ○E-mailアドレス oshi-jh@tvgn.ne.jp
 ○ホームページ <http://www.tvgn.ne.jp/oshi-jh/>

1 研究主題

(1) 研究主題 知・徳・体のバランスのとれた生きる力の育成
 ～確かな学力と自立する力の育成を目指して～

(2) 本校の現状と課題、及び到達目標

【現状】 県学習状況調査や「3つの達成目標」の結果から、本校の『学力』についてはおおむね良好であると言える。しかし、各教科の学習達成度・学習状況を見てみると、表現力や思考力といった言語活動の充実が不十分であると思われる。また、確実な基礎学力の定着が充分でない生徒が見られる。

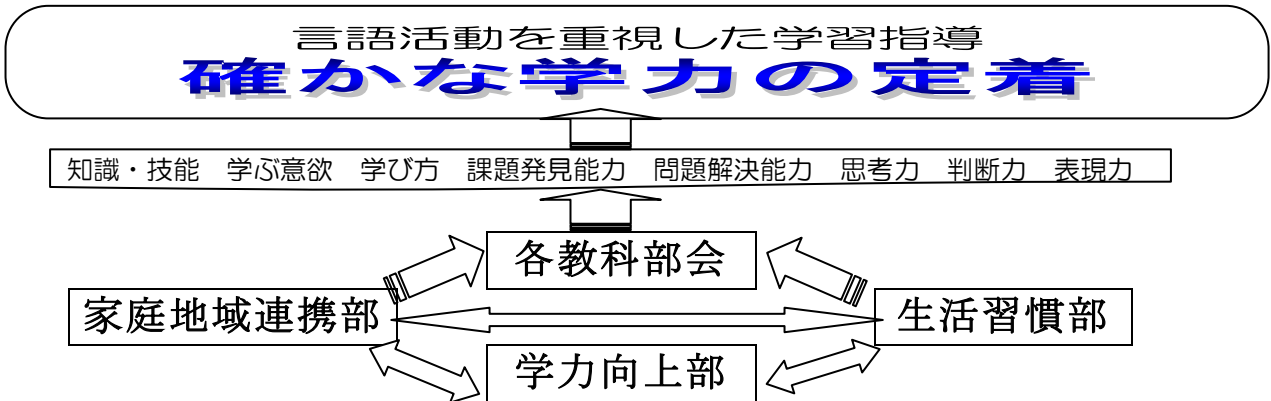
【課題】

- ・ 基礎的・基本的な内容の確実な定着
- ・ 指導方法の工夫と改善
- ・ 思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 習得・活用を取り入れた指導内容
- ・ 学習規律・生活習慣の確立
- ・ 学習意欲の向上と家庭学習の定着

【到達目標】

- ・ 個に応じた指導を繰り返し行い、基礎的・基本的な内容をより深く理解することができる。
- ・ 習得、活用を取り入れた指導内容や指導方法を工夫し意欲的に学習に取り組むことができる。
- ・ 言語活動の充実を図り、実践授業を通じた思考力・判断力・表現力を育成することができる。
- ・ 家庭や地域と連携し、教育力を高めることができる。

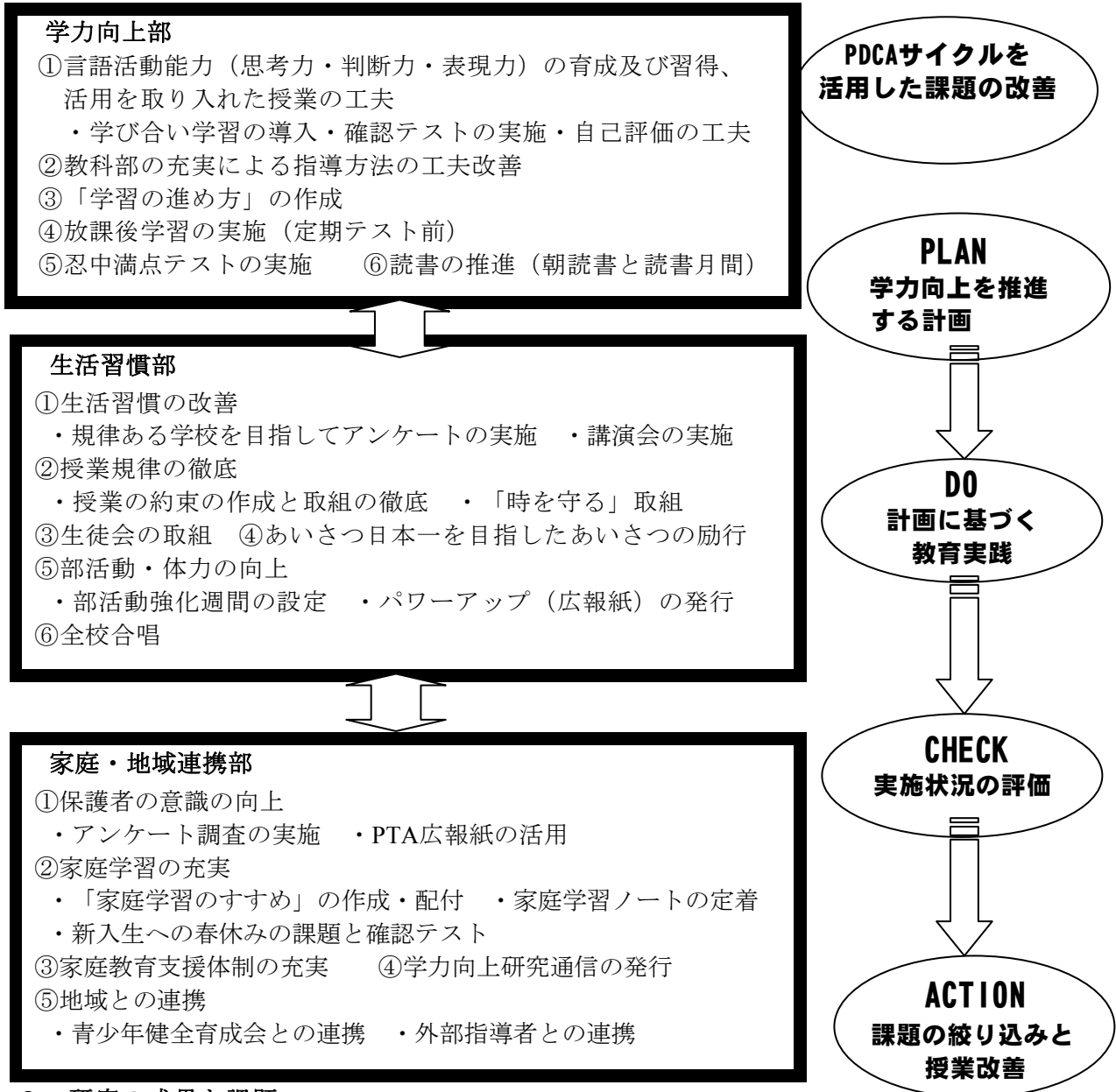
(3) 研究の構想



(4) 研究の仮説

- ・ 学力向上部
 生徒の興味・関心を高めて、進んで学習する手立てを講ずれば、学力が向上するであろう。また、生徒が学習方法を理解して取り組むことによって自信がつけば、学習への意欲がさらに増し、学力が向上するであろう。
- ・ 生活習慣部
 基本的な生活習慣が身につく、学習規律が定着すれば、学習への関心が高まり、学力・体力が向上するであろう。
- ・ 家庭・地域連携部
 家庭の教育力を高め、地域との連携を深めることにより、子どもたちの学習環境が改善され、学力が向上するであろう。

2 研究の実践



3 研究の成果と課題

【成果】

- ・学び合い学習を授業に導入することにより、一人一人の確実な学びの場を保障できた。
- ・忍中満点テストや放課後学習を実施することにより、基礎・基本の徹底を図ることができた。また、定期テストに向けた学習の取組も意欲的になった。
- ・家庭学習のすすめを作成し、毎日家庭学習ノートを提出させることにより、進んで学習に取り組めるようになった。
- ・新入生への春休みの課題と確認テストを実施したことで、学習に対する見通しをもち学習への不安を解消できた生徒が増えた。
- ・授業の約束をもとに学習規律の徹底を図り、落ち着いた環境の中で学習を進められた。

【課題】

- ・学び合い学習についてさらに研究を深め、忍中スタイルの学び合い学習を確立する。
- ・生活習慣や学習規律のさらなる確立を図るために、今後も継続して取り組む。
- ・各教科等の「言語活動」の充実を図りながら習得・活用の力を高める。
- ・学期、月ごとの研修の成果と反省をもとに、内容を吟味しながら研修時間を確保する。
- ・家庭との連携を密にし、情報を提供しながら保護者とともに教育にあたる体制を作る。